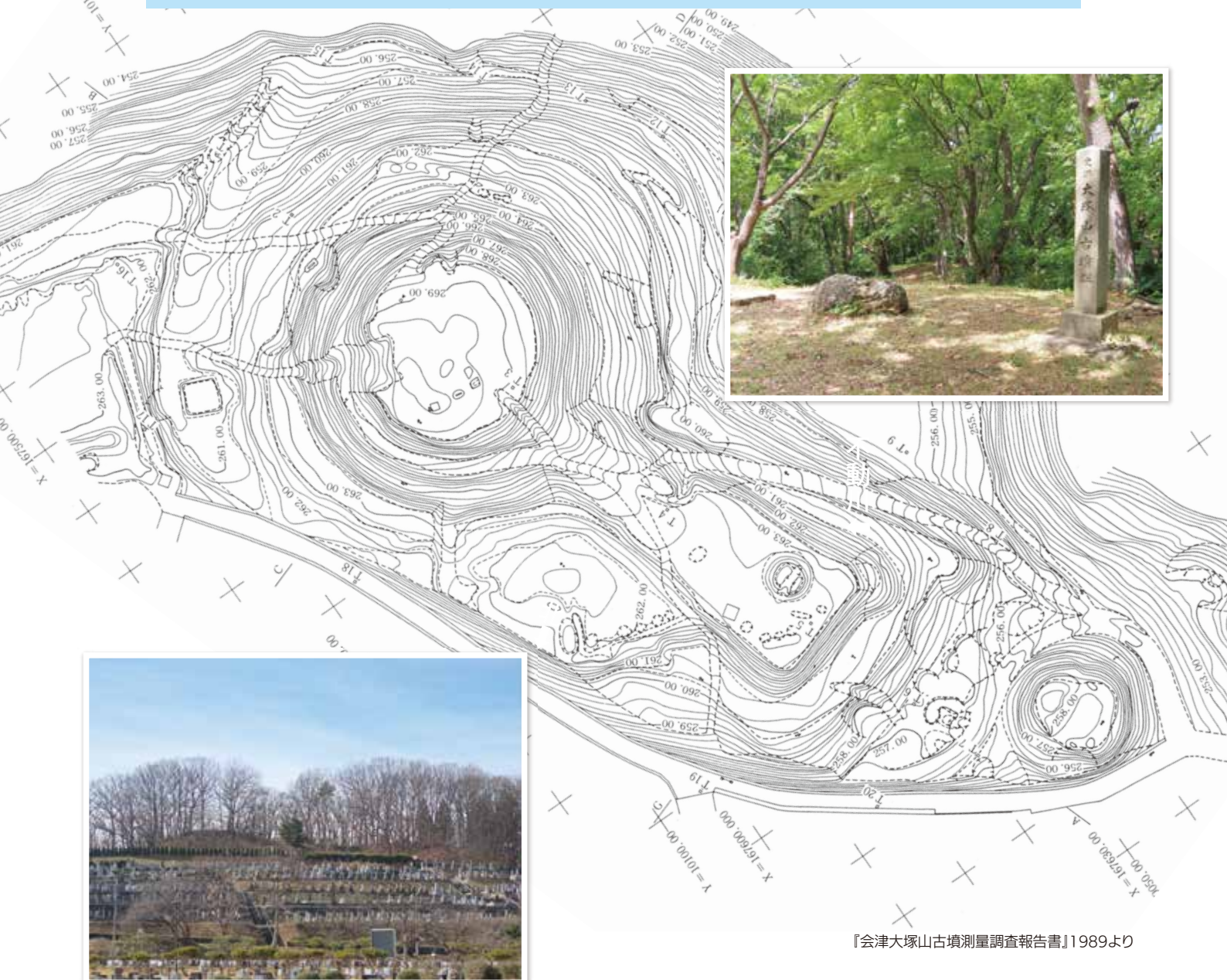


国指定史跡

会津大塚山古墳

最北の三角縁神獣鏡が出土した前方後円墳



『会津大塚山古墳測量調査報告書』1989より

会津大塚山古墳は、古墳時代前期(4世紀中頃)に造られた全長114mの前方後円墳です。

東北地方有数の大型古墳であり、日本最北の三角縁神獣鏡さんかくぶちしんじゅうきょうなど、東北地方の古墳の中で最も豊富な副葬品が出土しています。

葬られた人物は近畿地方のヤマト王権と強い関係を持った有力者と考えられています。

東北地方における古墳研究の始まりとなった古墳でもあり、昭和47年(1972)に国史跡に指定されました。

尾根と古墳を分ける周溝

後円部の形に沿って、丘陵の尾根を掘り込んだ周溝が巡っています。

古墳の埋葬施設(南棺と北棺)

2つの木棺が並んで出土しました。木棺はほとんどが腐って無くなっていましたが、棺の痕跡が黒土となって残っていました。

丸太を縦に半分に割り、中をくり抜いた割竹形木棺と考えられています。

南棺が先に埋葬され、しばらく後に北棺が追葬されています。

後円部上に置かれた石棺の蓋は、東側の住宅地にかつて存在した石仏古墳のものと伝わっています。



発掘された後円部(西から撮影)

謎の張り出し部

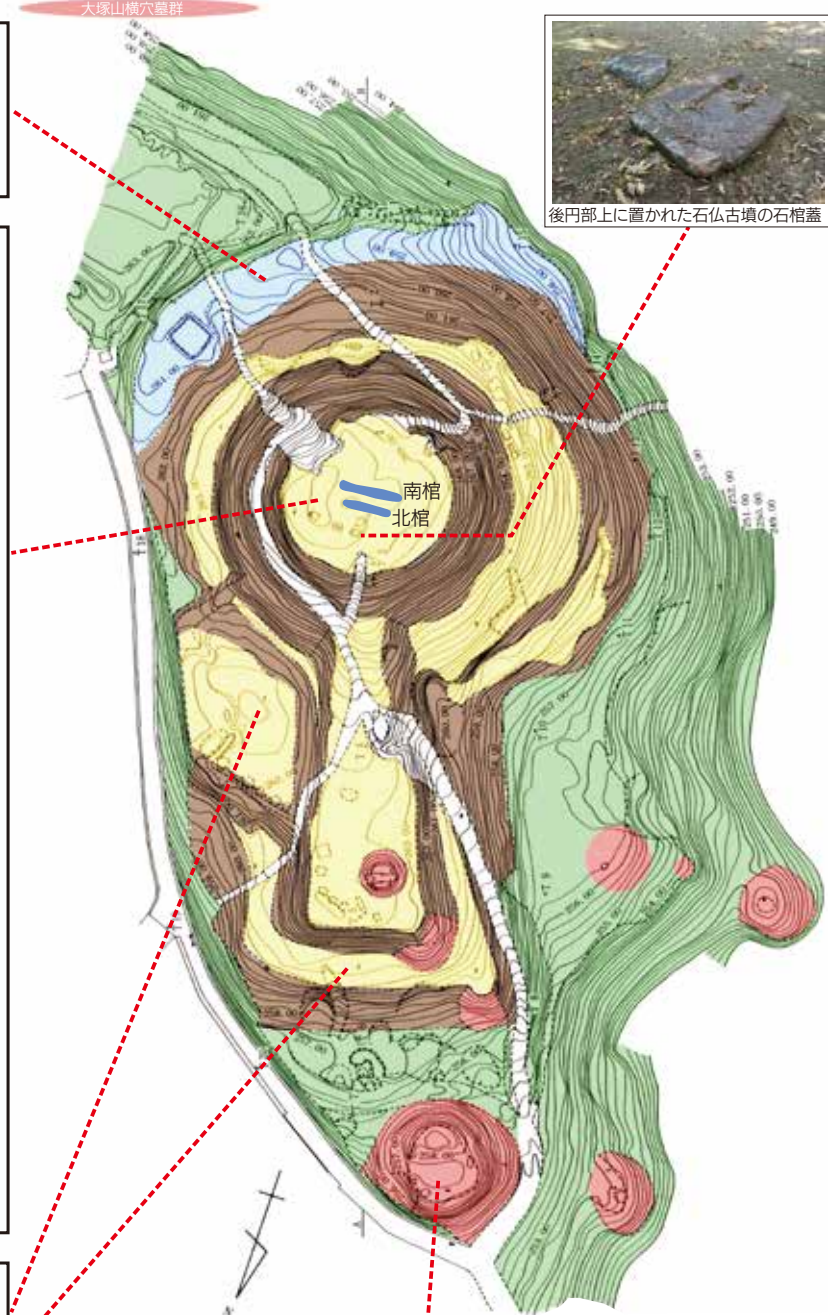
古墳の東側にのみ、台形状の張り出しがあります。古墳の一部と考えられますが、未調査のため、この張り出し部の役割は分かっていません。

古墳の形状

円形と長方形を組み合わせた全長114mの「前方後円墳」で、元々の丘陵の地形を利用しながら、地面を削ったり土を積んだりして造られています。

前方部も後円部も墳丘斜面の途中に平坦面を持つ2段築成です。前方部先端などで平坦面が明瞭に観察できます。また、後円部西側は部分的に3段になる可能性があります。

大塚山横穴墓群

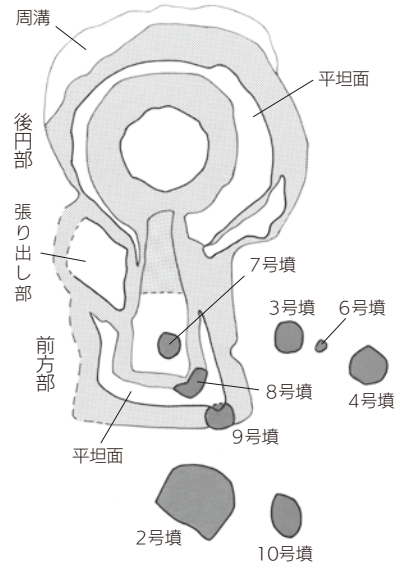


『会津大塚山古墳測量調査報告書』1989を基に福島県立博物館着色

大塚山古墳群

前方後円墳の北側には、2号墳と呼ばれる円墳があり、発掘調査の結果、前方後円墳よりも新しい古墳時代中期(5世紀)のものと判明しています。

前方後円墳の西側の斜面には、この他にも円墳が点在するほか、南側の崖には横穴墓もありますが、いずれもやや新しい時期のものと考えられています。



ぼうすいしゃがたせきせいひん
紡錘車形石製品 (直径5.85cm)



糸を紡ぐ際に使われる紡錘車に形が似ているため、この名前がついています。何に使われたものかは分かっていません。

ねじもんきょう
捺文鏡 (直径10.2cm)



小型の鏡で、獣の形が省略され擦じれた文様が描かれています。

へんけいちよくとう
変形直刀 (長さ81.2cm)

刀の先端の両側に刃がついているため、この名前と呼ばれています



柄に巻かれた布が良く残っています。



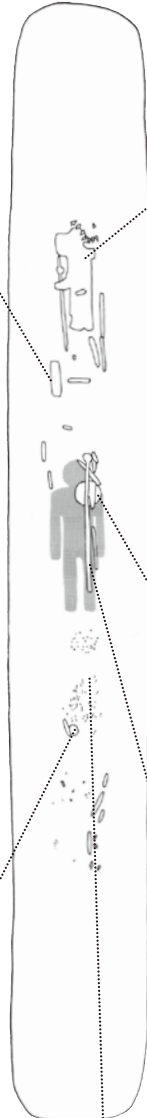
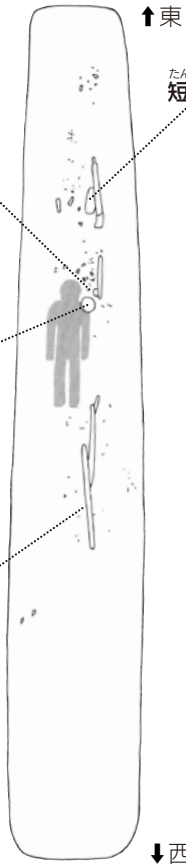
へんけいしじゅうきょう
変形四獣鏡 (直径9.5cm)



小型の鏡で、デザイン化された獣の像4体が描かれています。

北棺

南棺



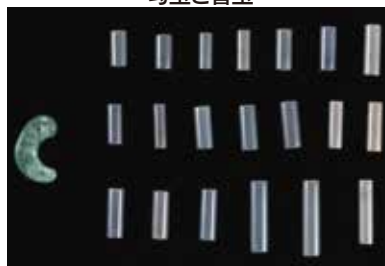
たんざくがたてつづ
短冊形鉄斧

ガラス小玉



孔が開けられたガラス玉。濃青色とスカイブルーの2種類が出土しており、紐を通して装飾に用いられたと考えられます。

まがたま くだたま
勾玉と管玉



ゆき
靴



矢を入れて背負う道具。表面に塗られた漆だけが腐らずに残っていました。中からは青銅製の鏃29点、鉄製の鏃20点が見つっています。

やじり
青銅製の鏃



さんかくぶちしんじゅうきょう
三角縁神獣鏡 (直径21.4cm)



縁の断面が三角形に盛り上がり、神様と獣が描かれていることからこの名前がついています。ヤマト王権から各地の有力者へ配布されたと考えられており、東北地方では会津大塚山古墳からしか発見されていません。

さんよう かんとう たち
三葉環頭大刀 (長さ118.3cm)

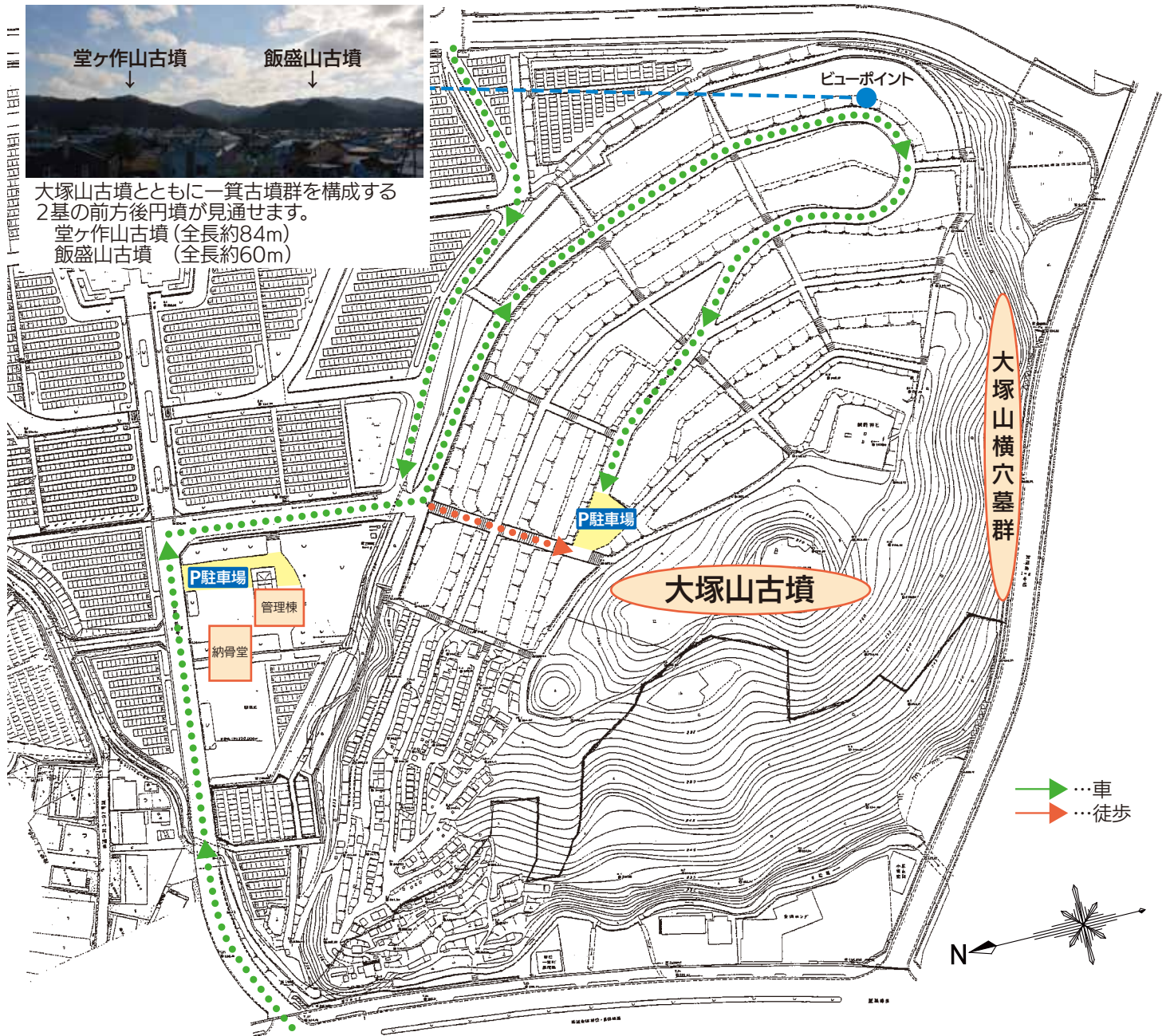
刀の柄頭に環と三つ葉の装飾がある大刀。全国的に見ても出土数の少ないタイプの大刀です。



南棺と北棺

先に埋葬された南棺の方が棺が大きく、副葬品も豊富です。副葬品の種類から、南棺と北棺のどちらも男性が葬られたと考えられています。二人の被葬者の関係性は分かっていません。

青色や緑色の石に孔が開けられており、紐を通して首飾りとして使われたと考えられます。



大塚山古墳とともに一箕古墳群を構成する2基の前方後円墳が見通せます。
 堂ヶ作山古墳 (全長約84m)
 飯盛山古墳 (全長約60m)



大塚山古墳
 —発掘調査から今日までの歩み—

昭和39年5月	発掘調査(全長90mと想定)
昭和39年9月	報告書『会津若松史 別巻1』刊行
昭和47年5月26日	「大塚山古墳」国史跡指定
昭和52年6月11日	「会津大塚山古墳出土品」国重要文化財指定
昭和63年4月～5月	再測量調査(全長114mと判明)

大塚山古墳の解説板を、大塚山墓園管理棟に掲示しています。

写真提供
 出土品：福島県立博物館
 発掘調査記録：会津若松市立会津図書館

発行：会津若松市教育委員会
 発行日：令和8年3月

本パンフレットは一般財団法人弓田八平会津歴史文化保護財団の寄付により作成しました。